

LEDチューブライト (ローブライト) の設置時の注意事項

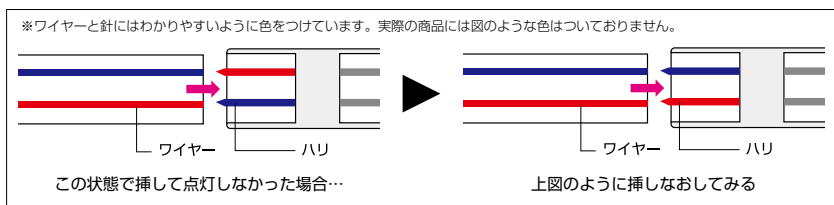
360°発光ローブライト II・LEDテープライトなどの商品を安全にご使用いただくため、使用上の主な注意事項をまとめました。施工される前には、器具の取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

< 設置時の注意事項 >

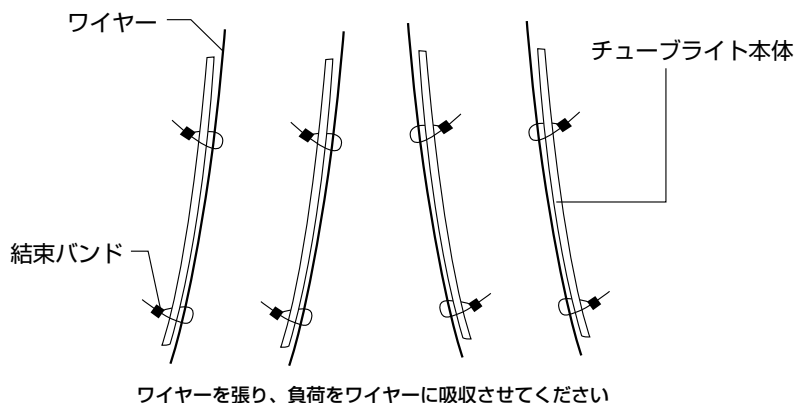
- 商品が届きましたら、まず正常に点灯するか確かめください。
- 電源接続の際は、電気容量などをしっかりと確認していただき取付けてください。
- 本製品の設置・施工は有資格者にお任せください。
- 本製品は臨時架空電飾用器具に相当しますので、3ヶ月以上の設置はご遠慮ください。(屋外設置の場合)
- LEDチューブライト(ローブライト)にパワーコードやコネクターを取付けの際は、予めチューブライトのワイヤー部分に千枚通し等で穴を広げてから、しっかりと奥まで差し込んでください。差し込みがよわいと点灯不良を起こす場合もございますのでご注意ください。
- LEDチューブライト(ローブライト)の重さを接続したパワーコードに掛けますと、接続部分の負担が大きくなり、抜けやすくなりますのでチューブライトとパワーコードは強く引張りあわないように充分ご注意ください。又、コネクターやY型コードにおいても、接続部分は弱いため、強く引張りあう様な施工は絶対に避けてください。
- LEDチューブライト(ローブライト)は複雑なデザインやきつい曲線には(特にφ13mm)あまり適しておりませんので、なるべく直線でのご使用をお勧めします。
- 複雑な曲げ加工を行う場合は専用の知識・機材などが必要となりますので、必ず専門業者にご依頼ください。
- 本体は防滴・防雨構造ですが、屋外でご使用になられる場合には、連結部分と末端部分は、必ず適切な防水処理をしてください。
- 適切な防水処理とは、防水BOXに入れるか、自己癒着テープ巻、もしくはシリコン塗布を行います。絶縁テープでは防水効果はありませんので、適切な処理を行ってください。市販の防水用収縮チューブを使用すると簡単に防水処理が出来ます。
- 吊り下げの使用には、ワイヤーロープ等を使用して、LEDチューブライト(ローブライト)に直接負荷がかからないようにしてください。LEDチューブライト(ローブライト)に直接負荷がかかると、球切れを起こす要因となりますのでご注意ください。(下図参照)
- LEDチューブライト(ローブライト)の接続は、最大メートル数を超えないようにご注意ください。特にコントローラーを使用の際は、規定のメートル数は絶対に越さないように、ご注意ください。
- LEDでも太い巻のまま点灯が続きますと、熱がこもり発火の原因になりますので、ドラムに巻いたままの点灯はお止めください。
- LEDチューブライト(ローブライト)に電源コードやコネクターを接続する場合や、カットする際は感電する恐れがありますので、必ず電源を抜いているか電源が入っていない事を確認の上、施工してください。
- LEDチューブライト(ローブライト)を曲げて型を作る時は、温めてから曲げると曲げ易くなりますが、電源を差し込んだまま曲げる事はしないでください。
- LEDチューブライト(ローブライト)をご使用になる際は、指定のLED専用商品をご使用ください。白熱球用を使用しますと、点灯不良を起こす事がありますのでご注意ください。
- LEDチューブライト(ローブライト)専用コントローラーを接続することで、点滅が可能となります。
- コントローラーは防滴仕様になっていませんので、屋外でのご使用の場合には、防水BOXに入れる等の防水処理を必ずしてください。
- コントローラー付商品は出荷の際、接続部分の締めがゆるくなり、点灯不良をおこす場合がありますので、取付け前にしっかりと締め直しをして取付けてください。
- LED商品、コントローラーは衝撃に弱い為、乱暴な扱いはせず、取扱には細心の注意を払ってください。
- 電源はAC100Vをご使用ください。

< 点灯しないときの対処法 >

- 複雑な曲げを行っていないかご確認ください。行なっている場合は一度ストレートな状態にして点灯させてみてください。
- チューブライトが電源コードや接続パーツにしっかりとささっているかご確認ください。
- 指定された連結数を越えて連結していないかご確認ください。連結数を越えている場合は正しい連結数で連結し直してください。指定連結数以内で連結している場合は一度連結を解除して単独で点灯するかご確認ください。
- チューブライトに極端な負荷がかかっているかご確認ください。
- チューブライトの2芯のプラス・マイナスが逆の場合がございます。下図のように一度チューブライトを接続部から抜いて180度回転(穴にささっていた針と違う針をさすようにするため)させてから挿し直してみてください。



< 吊り下げ使用時の注意事項 >



< 接続時の注意事項 >

- ローブライトを接続するためにハリをワイヤーに差し込む時、無理をするとハリが曲って他のワイヤーに接触しショートの原因になります。
接続の際は**真直ぐ確実に奥まで差し込んでください。**
- 予め**千枚通し等の尖った物でワイヤーに穴を開けておく**と差し込みしやすくなります。四方錐等で穴を開けようとすると、穴が裂ける可能性がありますのでご注意ください。
また、しっかり奥まで差し込まないと点灯不良の原因となりますのでご注意ください。
- 接続した部分は施工方法によって、雨水がしみ込みやすくなっておりまして、完全に水がしみ込まないように**防水処理**をしてください。

ワイヤーの接続



通常の状態では、ワイヤーにピンが刺さりやすく無理に差し込むとピンが曲ったりする事があります。



千枚通し等でピンの長さ位までワイヤー部分に差し込んで穴を広げればピンが刺さり易くなります。



広がった穴



穴を広げる際に真っすぐに刺さるように気を付けて作業を行ってください。φ1.1mmなどは、細い為ワイヤー部分を広げる際、誤って他のワイヤー部分やセンターの配線部分の穴にまで空けてしまう事もあるので、充分にお気を付けてください。



電源コードとの接続 ※コントローラー・I型コネクタ・T型コネクタも同様の方法です。



チューブライトが十分押さる位まで広げる



電源側接続口
チューブライト
キャップ

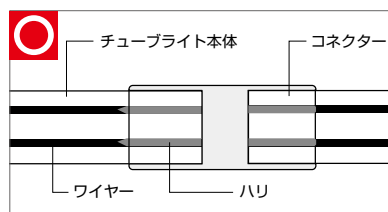
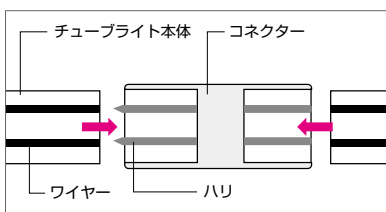


シリコン・コーキング剤・絶縁テープなど

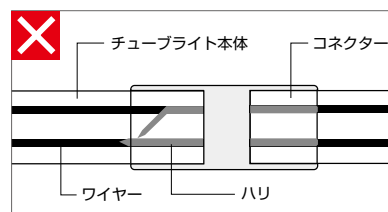
コネクタをしっかりと締め、コード部分にも余分に絶縁テープを巻き、隙間をコーキング剤などで埋めてください

[1]カバーを広げます [2]電源部のキャップを取外し、チューブライトにくぐらせておきます。チューブライト(ローブライト)を電源コードやコントローラーなどの接続部に差し込んでください。無理に奥まで差し込みすぎるとピンが曲る事がございますので、ご注意ください。また差し込みが浅すぎますと点灯不良の原因となりますので、ご注意ください。 [3]電源側の方をしっかりと持ち、キャップをまわしていきます。間違って電源側の方をまわさないように、ご注意ください。 [4] **しっかりと締めた後、防水処理を行ってください。** 防水処理は**絶縁テープだけでは不十分**ですので、必ず市販のシリコンやコーキング剤などを充填してください。

ローブライトとの接続 ※基本的な作業は上の電源コードとの接続と同じです。



ワイヤーにハリをしっかりと奥まで差し込む。



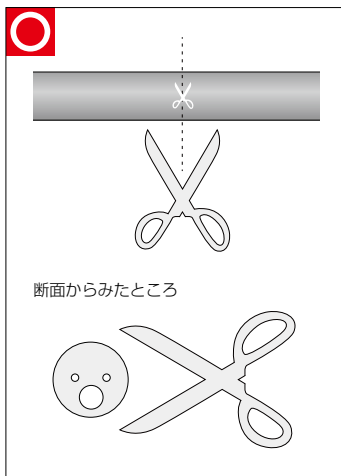
ハリが曲って隣のワイヤーに接触している。



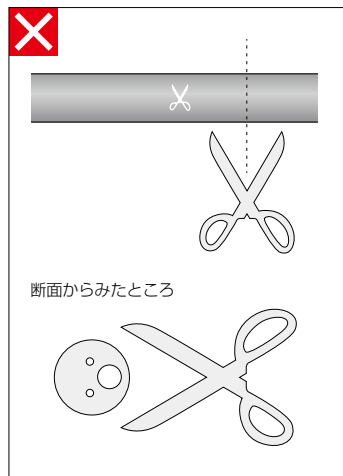
シリコン・コーキング剤・絶縁テープなど

コネクタをしっかりと締め、コード部分にも余分に絶縁テープ等を巻き、隙間をコーキング剤などで埋めてください

カッティングユニット



断面からみたところ



断面からみたところ

カッティングユニットとは、球と球の電気配線されて無い部分の間隔となります。**ハサミマークが入ってますので、必ずそのマーク上をカットしてください。** 誤って電気配線がされている部分をカットしますと、そのユニット部分は球切れ状態となり、点灯しなくなりますのでご注意ください。LEDローブライトの中には、上部にある2本のワイヤー以外に、中心に電気配線が通っております。

※商品によって、カッティングユニットが違ってきますので、カタログ掲載の情報や取扱説明書を確認のうえ、施工願います。



P.11の360°発光ローブライトIIのカッティングマーク

このハサミマーク中心をカットします。その際、まれですがカットマークの位置にローブライトの球部分の配線が掛かっている場合がありますので、カットの際はよく確認のうえ、配線が掛かっている場合は少しずらしてカットしてください。※カッティングマークは商品によって異なる場合がございますので取扱説明書などでご確認ください。